

# 日高支部だより

2014 vol. 1

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成26年 2月28日

発行元：(一社)北海道建築士会日高支部

〒057-0034  
浦河郡浦河町堺町西4丁目5-77  
榎下神田組内  
TEL 0146-22-3121  
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

## 平成26年度日高支部通常総会開催

～新役員体制で、新たな船出～

3月に開催予定の(一社)北海道建築士会通常総会に先立ち、2月8日(土)、浦河町の浦河ウエリントンホテルにて、日高支部の通常総会が開催されました。

土井支部長のあいさつの後、長期にわたる支部活動への貢献に対し、3名の方が表彰されました。

五十嵐 千津雄(平取町)  
阿部 幸男(新ひだか町)  
船場 明次(新ひだか町)



主催者を代表し、あいさつする土井支部長



表彰受賞者を代表し、あいさつする阿部幸男さん

その後、①会員の動静、②平成25年度事業報告、③平成25年度収支決算報告、④監査報告の4件の報告事項、①平成26年度事業計画(案)、②平成26年度収支予算(案)の2件の議案がすべて承認された後、本年は、2年任

期となっている役員の改選期であることから、役員選考委員会が組織され、互選により選出された高橋幸二委員長より選考(案)が示され、提案どおり承認され、総会は終了しました。

かつては、札幌市で開催という時代もありましたが、現在は、新ひだか町、浦河町の持ち回りで開催しており、来年は、新ひだか町で開催となります。

一人でも多くの会員の参加をお待ちしております。

総会終了後は、恒例の懇親会が執り行われました。早々とリーチとなるもなかなかビンゴと言えないBINGO大会の後、オーラスは、道産米争奪戦、土井支部長とのジャンケン大会。で、終了と思いきや・・・

支部長も歴任するなど、長年にわたり、この日高支部を牽引してこられた下神田さんから、延長戦の提案。思いもよらぬサプライズもあり、たいへん、盛り上がった懇親会でした。本来であれば、この間の労苦を労われる側の立場の下神田さんの懐の深さと、この日高支部への愛着を感じさせられたひとときでした。この場を借りて、会員一同より下神田さんに感謝の



延長戦を提案し、してやっつりの表情の下神田さん

言葉を述べさせていただきます。ありがとうございました。



土井支部長も参戦してのじゃんけん大会延長戦

### 平成26年度 役員体制

支部長	土井宗太郎
副支部長	木原宗孝
〃	池田尚登
会計理事	田村勝弘
理事	藤江勝睦
〃	津川博司
〃	湯村司勝
〃	山田利幸
〃	齋藤智光
〃	村田貞和
〃	小松幸彦
〃	高山橋二
〃	山谷下聡
〃	森田茂樹
〃	三中正克
〃	高村一昭
〃	手塚良重
〃	八手谷和雪
〃	浜谷波二
〃	菊地賢生
〃	石井峰論
〃	大谷晃平

# 日高支部だより

2014. vol. 2

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成26年 3月31日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会  
日高支部  
〒057-0034  
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77  
榎下神田組内  
TEL 0146-22-3121  
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

## 全道青年青年委員会連絡会議に青年役員が出席

～建築産業界の問題点を共有し、その解決方法を探る～



ワークショップを終了後のグループによる発表風景



高野会長＝来賓あいさつ



榎大塚商会の飯田課長＝基調講演



長谷川常務理事＝総括

3月29日（土）、札幌市のかでる2・7において、平成26年度全道青年委員会連絡会議が開催され、全道各地から62名の各支部青年委員会役員等が出席し、当支部からも森委員長と津山副委員長が出席しました。

この会議は、例年、本部総会の翌日に開催され、前年度の道青年委員会の活動状況ならびに当該年度の事業計画を確認するとともに、勉強会や意見交換会等を行っています。

当日は、高野会長、長谷川常務理事にもご臨席いただく中、連絡会議を滞りなく終了し、その後は、二部構成の研修会が開催されました。

第一部は、「CADからBIMの時代へ」というテーマで、榎大塚商会の飯田課長による講演を拝聴しました。BIMとは、Building Information Modelingの略称で、コンピューター上に作成した3次元の建物のデジタルモデルに、コストや仕上げ、管理情報などの属性データを追加した建築物のデータベースを建築の設計、施工から維持管理までのあらゆる工程で情報活用を行うことで、建築ビジネスの業務を効率化し、建築デザインにイノベーションを起こす画期的なワークフローで、参加者おのおの実務との乖離はあるものの、真剣に耳を傾けていました。第二部では、「建築産業界の問題点共有とその解決」というテーマで、ワークショップを行い、意見交換を行いました。若年層建築士の人材不足の背景には、やはり、若い人が建築に対し、魅力を感じないからではないかという意見が多くあり、あらためて、参加者ひとり一人が、魅力ある建築、魅力ある建築士会を構築していくことを確認しました。その後の懇親会でも酌み交わされた活発な意見交換が今後の支部の会員増強等に繋がることを期待しています。

# 日高支部だより

## 2014. vol 3

### Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成26年 4月30日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会  
日高支部  
〒057-0034  
浦河郡浦河町堺町西4丁目5-77  
榭下神田組内  
TEL 0146-22-3121  
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

## 第1回道南ブロック協議会に青年役員が出席

～アスファルト合材プラントを見学～



見学後の集合写真

4月19日（土）、苫小牧市において、平成26年度第1回道南ブロック協議会が開催され、森委員長、津山副委員長、久保幹事が出席しました。

協議会は、前段にスキルアップ研修会を開催し、その後、会議を行うというスケジュールが通例となっていて、まず、共同企業体苫小牧グリーンアスコン（アスファルト合材プラント）を見学しました。

たいへんお忙しい中、駆けつけていただいた北村苫小牧支部長より歓迎のあいさつをいただいた後、施設長から事前に説明を受け、構内を見学しました。

研修会終了後、丸彦渡辺建設㈱の第一会議室に移動し、会議を行いました。

会議では、道青年委員会の開催状況や全道青年委員会連絡会議の開催状況についての報告に引き続き、協議事項として、①役員体制及び組織図について、②規約及び規程（案）について③事業計画について、④収支予算書（案）について、⑤年間スケジュールについて、⑥青年の集いについて、⑦各支部活動状況及び今後の日程についてなど、多岐にわたって協議を行いました。

当支部としても、今後の予定として、例年開催している「ちびっ子建築士の絵画コンクール」を本年も実施するなどについて報告しております。真面目に議論した後は、ガラッと雰囲気を変えて、支部対抗のボウリング大会を開催。大人げなく本気を出した当支部は、見事、優勝し、その後も懇親を深め、苫小牧市の地域経済にも微力ながら貢献してきました。次回は、7月、室蘭市で開催予定で、しっかり学び、懇親を深める活動を今後とも継続していきます。



北村苫小牧支部長＝あいさつ



構内見学の様子



会議の様子

# 日高支部だより

2014 vol. 4

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成26年 5月31日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会  
日高支部  
〒057-0034  
浦河郡浦河町堺町西4丁目5-77  
榎下神田組内  
TEL 0146-22-3121  
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

## 青年建築士の集い（十勝大会）に青年役員が参加

～帯広競馬場とその周辺の土地利用を考える～



ワークショップ風景



バックヤードツアー風景



ワークショップの結果発表風景

5月17日（土）、帯広市の帯広競馬場において、青年建築士の集い（十勝大会）が開催され、当支部から、森委員長、津山副委員長、亀田副委員長、久保幹事の4名が出席しました。

毎年、担当ブロックが地域実践活動や地域の課題をテーマに開催しておりますが、今年は、競技として唯一、北海道遺産に登録されている「ばんえい競馬」がテーマ。今年、映画化された「銀の匙」などの効果もあり、入場者数は増えているものの売上増にはつながっておらず、一方で、施設の老朽化と周辺環境の整備が課題となっている状況を踏まえ、まず、「ばんえい競馬」について、基調講演でしっかり勉強し、施設見学を行った上で、建築士の視点で帯広競馬場とその周辺の土地利用を考えてみるという内容でした。

はじめに、バックヤードツアーが行われ、説明を受けながら場内を見学した後、ばんえい競馬振興室の田中室長による「ばんえい競馬の歴史と現状について」と題した講演を拝聴しました。ここ日高にとっての競馬とは全く異なる「ばんえい競馬」を学ぶのは貴重な機会で、「軌馬と道産子の違い」という基本

中の基本から始まり、すべてが新鮮でした。施設見学、講演を踏まえてのワークショップでは、建築士の視点はもとより、観光客としての視線での意見が出るなど、活発な議論が取り交わされていました。当然、議論するだけにとどまらず、売り上げにも貢献してきました。当日の第5競走に「青年建築士の集い in 十勝杯」という冠レースが組まれ、運試しにも挑戦してきましたが、当支部は完敗。でも、見事、万馬券を的中した仲間が他支部にいたようです。その地域ならではのことをその地域に行き行って学ぶ、このたいへん有意義な活動に今後とも積極的に参加していきたいと考えています。



冠レースの映像

# 日高支部だより

2014. vol 5

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成26年 7月31日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会  
日高支部  
〒057-0034  
浦河郡浦河町堺町西4丁目5-77  
榎下神田組内  
TEL 0146-22-3121  
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

## 第2回道南ブロック協議会に青年役員が参加

～蘭歴建見会と合同で室蘭 歴史的建造物を探訪～



煉瓦造と木骨煉瓦造の混構造を採用している丸越山口紙店

7月5日（土）、室蘭市において、平成26年度第2回道南ブロック協議会が開催され、当支部から、森委員長、亀田副委員長、村田幹事の3名が出席しました。

前段、室蘭地域の歴史的建造物を大切に思う市民が集い、歴史的建造物の調査・活用・伝承に関する事業を行うとともに、保全に向けての活動を行い、室蘭の歴史の風化を防ぎ、教育や観光、まちづくりに寄与する目的に活動されている『蘭歴建見会』と合同で「室蘭歴史的建造物探訪」を行いました。

あまり印象はないかもしれませんが、開港142年の室蘭市には、石炭の積み出し港、重工業都市として北海道の近代を支えてきた歴史があり、ゆっくり街を歩いてみると随所に歴史的建造物が見られ、当時の面影を残っています。

集合場所となった「室蘭停車場」は、室蘭駅としては3代目となる駅舎ですが、明治45年築、道内の駅舎では最古の木造建築物で、国の登録有形文化財の指定も受けている建物です。

約2時間のまち歩きとなりましたが、煉瓦造と木骨煉瓦造の混構造を採用している丸越山口紙店や、外壁がスクラッチタイル張り

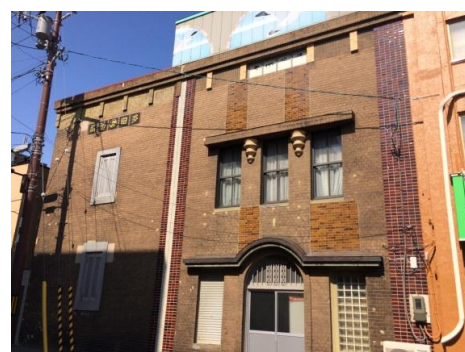
で、装飾性の高いモチーフや窓枠が施されている多田薬局本店倉庫など、数多くの魅力的な歴史的建造物を見学し、室蘭市の新たな顔を発見することができました。その後、室蘭市中小企業センターに場所を移し、会議を行い、6月21日（土）・22日（日）の2日間、新さっぽろアーケシティー「サンピアザ」にて開催された建築士（会）周知イベント『建築のお仕事体験～7月1日は建築士の日～』などの事業報告をはじめ、9月26日開催の青年サミットならびに全道大会C分科会の事業内容、さらには、各支部の取組状況、今後の予定などを確認し、会議終了後は、恒例の飲みみにケーションで懇親を深めました。



歴史も加え詳しく説明してくれたガイドさん



丸越山口紙店の内部



大正15年築の多田薬局本店倉庫

# 日高支部だより

2014 vol 6

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成26年 8月31日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会  
日高支部  
〒057-0034  
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77  
樹下神田組内  
TEL 0146-22-3121  
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

## 親睦パークゴルフ大会開催

～ 36ホールの熱い戦い～



スタート前、やる気満々のみなさん

8月31日（日）、新冠町の西泊津ヒルズパーク・パークゴルフ場において、平成26年度日高支部親睦事業パークゴルフ大会が開催され、約40名の会員が参加しました。

昨年は、ソフトボール大会で懇親を深めましたが、本年は総会での協議に基づき、会員の高齢化などを踏まえ、種目をパークゴルフに変更しての親睦事業となりました。

晴天に恵まれる中、開会にあたって、土井支部長は、準備にご尽力いただいた開催地、新冠町の会員への労いの言葉を述べた上で、『会員の高齢化や会員数の減少と課題は多く、支部として開催している数少ない親睦事業ではありますが、この貴重な機会に参加いただいたみなさんには、楽しくお過ごしいただきたい。』とあいさつしました。

その後、懇親を深めるため出身町を無関係に編成した4人1グループに分かれ、36ホールという長丁場でしたが、和気あいあいとプレーが繰り広げられました。

昼食には、新冠町の村田理事ご用達という「こだわりザンギカレー」が用意され、あっという間に疲労回復、お代わりをする青年も見られました。昼食後、豪華景品の用意された表彰式が執り行われ、団体の部では、昨年のソフトボールで振るわなかった新ひだか町チームが、優勝、準優勝を勝ち取るなど、リベンジを果たしたほか、個人の部でも、お約束のブービー賞をはじめ、それぞれ、賞が贈られました。

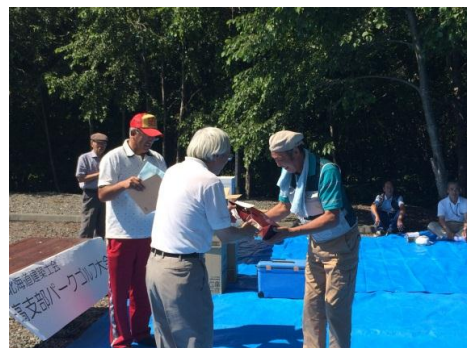
年々、参加者の固定化が目立つ親睦事業ですが、会員のみなさんにおかれましては、この年に一度の機会にぜひご参会いただければ幸いです。



土井支部長による開会あいさつ



プレー中の模様



個人の部で見事優勝

# 日高支部だより

2014. vol. 7

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成26年 9月15日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会  
日高支部  
〒057-0034  
浦河郡浦河町堺町西4丁目5-77  
榎下神田組内  
TEL 0146-22-3121  
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

## ちびっ子建築士の絵画コンクール表彰式開催

～入賞者19名を表彰～



出席してくれた受賞者14名との集合写真



表彰前の様子



土井支部長によるあいさつ

9月13日(土)、新ひだか町地域交流センターピュアプラザにおいて、平成26年度ちびっ子建築士の絵画コンクール表彰式を開催しました。この事業は、会員の高齢化が進む一方、地方における建設工事低迷を背景とする若年層建築士の地方離れが進む実情を改善するための草の根活動として、子ども達の将来の選択肢に『建築士』が加わることを期待して、日高管内の小学4年生を対象に「ぼくのいえ・わたしのいえ」をテーマに行っているものです。

今年も日高管内の16校から147作品の応募をいただき、9月3日(水)に厳正に審査を行った結果、支部長賞1点、金賞3点、銀賞5点、銅賞10点の受賞者を決定しました。

当日は、急な案内にもかかわらず、受賞者19名中14名の児童に出席いただき、土井支部長より『みなさんの中から、1人でも多く建築士が生まれることを期待しています。』とあいさつした後、表彰、記念品を贈呈しました。なお、受賞者は次のとおりです。



支部長賞を受賞した加治 卯月さん

【支部長賞】加治 卯月 (えりも)

【金賞】浦川 陽菜 (静内) ・大西 ありす (高静) ・則次 智美 (高静)

【銀賞】葛西 未羽 (新冠) ・伊藤 瑞結 (高静) ・落合 愛子 (静内) ・三上 やこ (浦河)

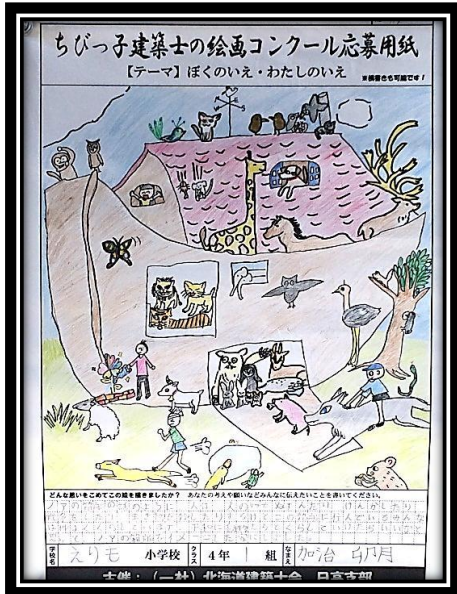
森山 賢信 (様似)

【銅賞】渡邊 春風 (高静) ・小山西 康生 (山手) ・明内 美羽 (山手) ・岡垣 恋菜 (東静内)

小倉 彩 (東静内) ・金子 綾奈 (浦河) ・廣島 悠果 (浦河東部) ・前田 優弥 (浦河東部)

吉田 棕平 (様似) ・工藤 光莉 (庶野)

# 支部長賞



えりも小学校 加治 卯月さんの作品

～本人のコメント～

ノアの方舟の話のように、人は、人の物を盗んだり、喧嘩したり、戦争をしたり、生き物を殺したりするけど、この方舟に住んでいるみんなは、仲良く暮らしています。平和に動物たちと暮らしていけたらいいなと思って、ノアの方舟をイメージした家になりました。

# 金賞



高静小学校 則次 智美さんの作品

～本人のコメント～

私は、物語に出てくるようなお城に住んでみたいと思いました。私は、物語よりも素敵なお城に1度でいいから住みたい！という勢いを思いにして書きました。私は、みんなが行ってみたい住んでみたいなどを思い高級な感じを絵にしてみました。

# 金賞

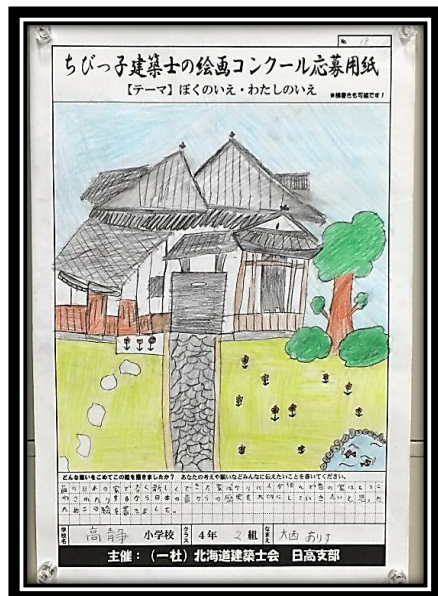


静内小学校 浦川 陽菜さんの作品

～本人のコメント～

いつかこんな素敵な家に住んでみたいなと思って書きました。煉瓦でできた家に立派な三角屋根、バラのマークや庭に飲み物が飲めるちょっと大人でくつろげる庭がポイントです。

# 金賞



高静小学校 大西 ありすさんの作品

～本人のコメント～

昔の日本の家でなく新しくできた家ばかりに人が住んで昔の家は取り壊されたりするから日本の昔からの歴史を大切にしていきたいと思ったため、この絵を描きました



# 日高支部だより

## 2014. vol. 8

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成26年 9月30日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会  
日高支部  
〒057-0034  
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77  
榎下神田組内  
TEL 0146-22-3121  
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

## 第39回北海道建築士会全道大会（旭川大会）開催

～都心ルネッサンス・氷点のまち 輝くみらい～



基調講演の様子



青年サミットの様子



C分科会の様子

9月27日（土）、旭川市公会堂において、第39回（一社）北海道建築士会全道大会（旭川大会）が開催され、当支部から、土井支部長、高橋理事、三嶋理事、同青年委員会から、森委員長、津山副委員長、亀田副委員長、久保幹事が出席しました。

式典では、大会実行委員長の石川 旭川支部長が地元旭川の魅力をPRした上で「今、建築士の資質の維持・向上及び業務環境の改善とともに会員増強が喫緊の課題であり、勧誘活動など継続的な取組が重要です。なぜなら、東日本大震災の復興が依然として進まない中、さらなる大震災も危惧されており、私たち建築士の果たす責任は極めて重大で、社会発展のための地域のリーダーとして職責を果たす使命があると考えているからです。」と力強くあいさつした後、高野会長が主催者を代表し、「平成5年に全国大会を開催して、早21年。旭川駅が建替えられるなど、旭川市の変貌ぶりには目を見張るものがあります。ぜひ、まちに繰り出していただき、今大会のテーマ『都心ルネッサンス』を実感していただきたい。」とあいさつしました。

その後、19支部34名への会長表彰、分科会報告を受け、式典は滞りなく閉会しました。続いて、旭山動物園閉園の危機を動物本来の能力や習性を見せる「行動展示」で脱し、今では日本最北の動物園でありながら、国内外から多くの人々が集まるようになった『奇跡の復活』の立役者の一人である坂東元園長による『伝えるのは命のかがやき』と題した基調講演を拝聴しました。

また、青年委員は、式典に先立ち開催されたC分科会ならびに前日開催された青年サミットにも出席しております。サミットでは、中心市街地に昔ながらの『にぎわい』を取り戻すために今の”あさひかわ”に何が足りないか？を話し合いました。参加者からは、前段行われた『まちあるき』から見出された「点」で存在する地域の素材を繋ぎ、「面」として発信するよう核施設が必要という意見が多く寄せられていました。

# 日高支部だより

2014. vol. 9

## Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成26年10月31日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会  
日高支部  
〒057-0034  
浦河郡浦河町堺町西4丁目5-77  
樹下神田組内  
TEL 0146-22-3121  
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

## 第3回道南ブロック協議会に青年役員が参加

～函館市消防本部庁舎の外壁改修工法等を学ぶ～



会場風景：あいさつをする函館支部の向平青年委員長（中央）



説明をする朝倉副ブロック長



外部改修中の函館市消防本部

10月18日（土）、函館市において、平成26年度第3回道南ブロック協議会が開催され、当支部から、森青年委員長、津山副青年委員長、村田青年委員会幹事の3名が出席しました。

前段、函館市消防本部の改修工事に採用した工法などについて、朝倉副ブロック長（函館支部・東興アイテック㈱）より説明を受け、その後、昨年、改修を終えている部分について、実際に現地で施工状況を確認しました。

従来、タイル壁の補修については、部分補修の場合、既存タイルと完全に同色のタイルを制作することが困難で、色違いが発生し仕上がりにムラがでたり、全面改修の場合であっても、事前に赤外線による全面調査を行った上で、外壁複合改修工法や金属パネル等によるカバー工法、あるいは、エポキシ系の注入工法が採用されていますが、タイル意匠の変更や剥落防止の確保など課題がありましたが、当該改修で採用しているプラチナコートFP復元工法は、タイル壁面全面をアクリル樹脂系透明塗膜でコーティングしてアンカー固定することで、外壁を一体化し、剥落の防止に加え、タイルの意匠性も残すことができるというものでした。また、欠損やひび割れなど、交換が必要なタイルについては、既存のタイルを基に特殊技法を使って同じ色・柄のタイルを手作りで制作するというクローンタイルが使用されていました。

施工状況を確認しましたが、クローンタイルを使用した枚数が少ないということもありましたが、使用箇所の特定はできませんでした。その後、会議室に戻り、各支部の取組状況ならびに今後の予定などのほか、今年度、最後の協議会であることから、次年度の開催日程を協議した結果、平成27年度については、苫小牧（4月）、函館（7月）、日高（10月）の3回開催とすることが確認されました。日高開催の際には、青年を中心に声かけさせていただきますので、参加へのご配慮をお願い申し上げます。